



第3節 これまでの市の取り組み

本節では、市がこれまで行ってきた、環境保全に関する代表的な施策や事業等について紹介します。

1 自然環境保全に関する主な取り組み

【森林や農地の多様な公益的機能を保全する取り組み】

- ・ 森林は、水源かん養機能や山地災害防止機能、市民に憩いと学びの場を提供する保健文化機能、自然環境維持機能など多様な公益的機能を有しています。本市では、森林整備計画等に基づき、森林の公益的機能に応じた事業の実施や、市民参加による森林整備の取り組みを進めてきました。
- ・ 本市の農地は、広島県最大の稲作地帯であるとともに、水源かん養機能や自然環境維持機能、良好な景観維持など、森林とともに多様な公益的機能を有しています。本市では、農業振興基本計画等に基づき、農業振興と併せて農地の有する水源かん養機能など多面的機能を活かすための取り組みを進めてきました。

【市民が自然とふれあえる場を整える取り組み】

- ・ 市民が自然とふれあえる場として、憩いの森公園、二ツ山公園、わにぶちの滝公園、県央の森公園、やすらぎの園、深山峡公園、龍王島自然体験村、あきまろの里公園の自然公園を整備しています。

【生物多様性を保全する取り組み】

- ・ 森林、河川、農地、ため池、海などの本市の多様な環境は、生物の生息・生育の場としても重要な役割を果たしています。本市では、動物基礎調査や水生植物基礎調査によりその実態の把握に努めています。
- また、環境に配慮した河川整備や水産資源の保全とともに、生物多様性の保全につながる取り組みも進めています。

2 快適な住環境の保全・形成に関する主な取り組み

【公園整備や緑化に関する取り組み】

- ・ 東広島運動公園、龍王山総合公園などの都市公園や公共施設等の緑化を進めているほか、公園里親制度などを通じて、市民協働による公園緑地の維持管理にも取り組んでいます。

【水環境の保全に関する取り組み】

- ・ 水質汚濁を低減・防止するために、東広島市污水適正処理構想に基づき、公共下水道や農業集落排水処理施設の整備、浄化槽の設置支援等による生活排水の処理を行っています。
- また、環境保全型農業直接支払交付金により、農業活動に起因する水質汚濁の防止にもつながる低農薬・低化学肥料による農業に対する支援などを実施しています。

3 ごみの減量化や資源循環に関する主な取り組み

【ごみの排出抑制に関する取り組み】

- ・ ごみ排出量の削減を図るための取り組みとして、平成 13 年度に事業系ごみの有料化、平成 19 年度に家庭系ごみ指定袋制度を導入しました。
- ・ 平成 18 年度以降の年間ごみ処理経費が平成 17 年度と比較して 10%以上超過していることから、東広島市ごみ減量化・リサイクル推進計画に基づき、平成 22 年度に家庭ごみの有料化に向けた検討などを行いました。

【リサイクルの推進に関する取り組み】

- ・ ごみの排出抑制や資源循環を促進する取り組みとして「3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再資源化）」の啓発活動を行うとともに、生ごみ処理容器の購入補助を行っています。

【環境美化に関する取り組み】

- ・ 平成 7 年に空き缶や吸い殻の散乱並びに犬のふんの放置を防止し、地域の環境美化や本市の良好な環境の保全に資することを目的とした「東広島市ポイ捨て等防止に関する条例」を定め、条例に基づく環境美化強化地域において清掃を行っています。
また、6 月の環境月間では、第 2 日曜日を環境美化の日と定め、「きれいなまちづくりキャンペーン」を実施しています。

4 地球環境保全に関する主な取り組み

【地球温暖化防止に関する総合的な取り組み】

- ・ 全市域を対象とした各主体参加型の地球温暖化対策地域協議会の立ち上げに取り組み、平成 22 年 7 月 16 日に「エコネットひがしひろしま」が設立されました。
- ・ 「東広島市脱温暖化プラン～地球温暖化対策地域推進計画」（平成 20 年度）や「東広島市役所地球温暖化対策実行計画」（平成 19 年度）を策定し、温室効果ガスの排出抑制を推進しています。

【新エネルギー導入や省エネルギー推進の取り組み】

- ・ 「東広島市地域新エネルギービジョン」（平成 21 年度）や「東広島市バイオマスタウン構想」（平成 22 年度）を策定し、多様な新エネルギーの導入の推進を検討しています。
- ・ 福富支所や三ツ城小学校等に太陽光発電システムや太陽熱利用設備を設置しており、平成 22 年度には中央中学校、園芸センターに太陽光発電システムを設置しました。
また、住宅用太陽光発電システム等設置費補助金制度を創設し、家庭における太陽光発電システムの設置支援を行っています。
- ・ 総合福祉センターや勤労福祉センター等に高効率ヒートポンプ方式の空調機器を設置するなど、公共施設の省エネ化を推進するとともに、ライトダウンキャンペーンへの参加の呼びかけなど、省エネルギーの推進に向けた取り組みを展開しています。

【産業面からの地球温暖化防止の取り組み】

- ・ 販路拡大の支援を目的とした「東広島発！ものづくり逸品」や東広島ブランド「ゆめまる」といった認定制度の活用促進により、低炭素社会形成に寄与する製品づくりや地産地消に伴うフードマイレージ※の低減など、地球温暖化防止にもつながる取り組みを支援しています。

東広島ブランド推奨マーク
「ゆめまる」



5 環境教育や環境情報の発信に関する主な取り組み

【環境教育・環境学習に関する取り組み】

- ・ 「東広島市生涯大学システム」や「東広島市生涯学習まちづくり出前講座」、「マイタウンティーチャーの派遣」等を活用し、学校教育の場や市民等に対する環境教育・環境学習を推進してきました。
また、「ひがしひろしま生涯学習ボランティア人材バンク」を設置し、環境等に関する指導者の登録・育成にも努めています。

【環境情報の発信に関する取り組み】

- ・ 「市民活動情報サイト内の環境 eco のページ」や「広報東広島」、「東広島市の環境（環境白書）」等を通じて、様々な環境情報の発信を行っています。

※ フードマイレージ：食糧の総重量と輸送距離を掛け合わせたもの。食料の生産地から食卓までの距離が長いほど、輸送にかかる燃料や二酸化炭素の排出量が多くなるため、フードマイレージが高いほど、食料の消費が環境に対して大きな負荷を与えていることになる。